



愛着の絆

校長 宮林 伸之

あけましておめでとうございます。昨年は本校の教育活動にご理解、ご支援を賜りましてありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

巳

今年の干支は、「巳」です。「巳」は漢書によると「己」からきており、草木の成長が極限に達した状態を表しているそうです。また、若木が成木となり力強く大空へと伸びていくような勢いを表しているとも言われています。光が丘夏の雲小学校の子供たちも力強く伸びゆく1年になることを祈念しています。

さて、「木に学べ」という本があります。法隆寺金堂の大修理、薬師寺金堂や西堂などの復元を行った宮大工棟梁 西岡常一氏が取材を受け、その語り口のままにまとめられた本です。その中で西岡氏は次のように語っています。

「木というのはまっすぐ立っているようで、それぞれクセがある。自然の中で動けないのだから、生きのびていくためには、それなりに土地や風向き、日当たり、まわりの状況に応じて、自分を合わせていかなければならない。」

「木のクセを見抜いてうまく組まなくてはならないが、木のクセをうまく組むためには人の心を組まなくてはならない。」と…

これは、まさに子育てにも言えることです。子供はみな一人一人異なります。望ましい方法、様式の枠にはめて育てることが教育上有効な場合がありますが、木のクセと同様に子供のクセすなわち個性を見抜き、その個性に合わせて対応することも、また、大切なことです。

では、子育てする上で大切にすべきことはどのようなことなのでしょう。

和歌山大学教育学部教授の米澤好史氏は、愛着（アタッチメント）の絆の重要性を次のように述べています。

愛着とは、「特定の人と結ぶ情緒的な絆」のことです。誰か特定の人と、きちんとつながっているという思いがあることで心は安定し、困難なことにも挑戦する意欲が湧きます。また、不安やストレスを上手にコントロールしながら、他者とうまくコミュニケーションすることができます。 と…

では、逆に愛着の形成がなされていない場合の影響について次のように述べています。

愛着の形成がしっかりされずに不安定だった場合は様々な問題行動につながりやすくなります。特定の人との絆がない分、自分が守られているか不安なため自分を守るために嘘を言い切る傾向があります。また、愛情欲求が強く、自分に注目してほしいがために大きな声をあげたり、問題行動を起こして周囲の気を引いたり、人を試す「試し行動」と言われる行動も見られます。と…

私たちは、これまでに様々な人と愛着の絆を結んできたからこそ心が安定し、活動できているのだと思います。今後も異なる個性をもつ子供たち一人一人と愛着の絆を結べるように、子供の心に寄り添った指導をしてまいります。今年も本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。